



令和7年3月4日

担当課	環境政策課
担当者	池端、勝本
電話	073-435-1114
内線	2618

## 地下水の有機フッ素化合物調査結果について

有機フッ素化合物である PFOS（ペルフルオロオクタンスルホン酸）及び PFOA（ペルフルオロオクタン酸）は、泡消火剤や電子基板製造等、多用途で使用されてきましたが、人や動物への毒性や蓄積性が明らかになり、環境中での検出事例が注目され始めている化学物質です。

令和2年5月に要監視項目へと位置づけられ、PFOS 及び PFOA の合計として1リットル当たり50ナノグラム（50ng/L）の暫定指針値が設定されています。

本市では、市内一円の地下水の概況調査として有機フッ素化合物濃度を測定しており、令和7年1月27日に6地点で行った結果が判明し、すべて暫定指針値以下であることがわかりました。また、令和6年12月に暫定指針値超過が判明した園部及び加納各地点の周辺の地下水及び河川水で追加調査を行い、この結果も判明しました。

### ■ 概況調査結果

単位：ng/L

採水場所	秋葉町	寺内	森小手穂	西浜	三葛	紀三井寺
PFOS 及び PFOA	15	0.8	3.3	40	2.1	9.5

### ■ 超過地点周辺調査結果

園部の周辺調査では、暫定指針値超過地点はありませんでした。加納では、調査した4地点中2地点で暫定指針値を超過しました。河川水は、いずれも低い濃度となっていました。

	調査地点	超過地点	地下水濃度範囲	河川水濃度	
園部	4地点	0地点	9.1～16ng/L	鳴滝川	4.4ng/L
加納	4地点	2地点	17～120ng/L	大門川	12ng/L

### ■ 指針値超過範囲と留意点

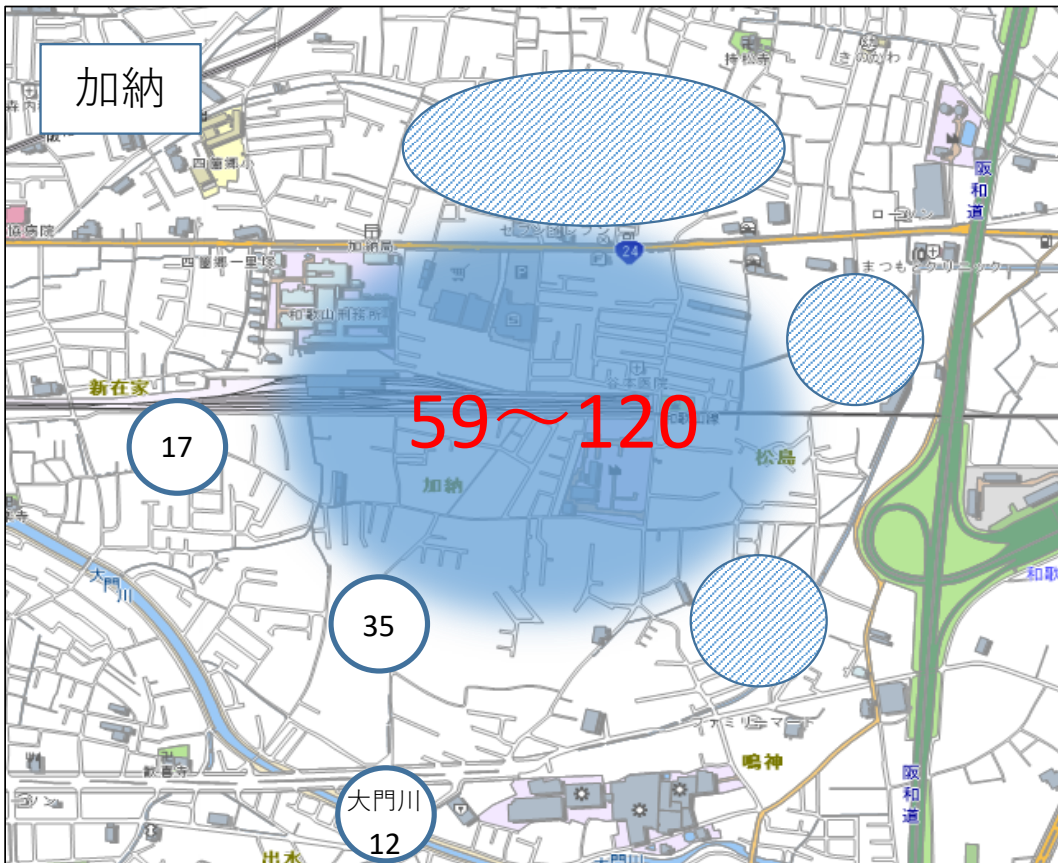
周辺地下水調査から、別紙の図に示す範囲で指針値超過が推定されます。この範囲の内外にかかわらず、飲用には水道水を使用するとともに、井戸水利用時には1年に1回以上の詳しい水質検査を実施するようお勧めします。なお、洗たくや入浴など、飲用以外の利用については問題ありません。

### ■ 今後の対応

加納周辺では、さらに範囲を広げて地下水の水質調査を実施し、暫定指針値超過範囲の推定を進めます。今後の調査結果については、随時ウェブサイト等で公表します。

≫ その他、PFOS 及び PFOA に関する情報は、環境省の HP をご参照ください。  
環境省リーフレット URL : <https://www.env.go.jp/content/000241758.pdf>

PFAS水質調査結果



凡例 ● 暫定指針値超過範囲 ○ 暫定指針値以下の地点 ◐ 今後の調査予定地点

※丸の中の数字は濃度(ng/L)を表します。

※加納周辺については、今後の調査により超過範囲が拡大する可能性があります。